

各位

党派を超えて国家的課題を追求する

公益財団法人協和協会

時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信 夫

両団体理事長 半 田 晴 久

環境技術委員長 坂 本 忠 彦

両団体専務理事 清 原 淳 平

## 環境技術委員会のお知らせ (第357回)

日 時 平成31年4月18日(木) 午後1時半～4時

場 所 衆議院第一議員会館 地下1階 第2会議室

千代田区永田町2-2-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・千代田線)①番出口より2分、永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車5分。当日、午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。その時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにてお待ち下さい。会議開始後にお越しの方は、受付に「第2会議室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

議 題 1、「環境問題について、昨今、想うこと」

挨拶 坂本忠彦環境技術委員長

2、COP24と温暖化対策の展望

解説 高村ゆかり東京大学大学院理工学連携研究機構教授

3、『環境技術関連ニュース NO.178』

解説 中島稔科学技術部会長

報 告 去る3月20日開催の第356回環境技術委員会は、坂本忠彦委員長が議長を務め行われました。まず、坂本委員長より、「環境問題について、昨今、想うこと」と題して開会挨拶がありました。今日か明日、桜の開花宣言が出されそう。近年は温暖化とヒートアイランドの影響からか、南から順にはなく、東京が最も早く咲くようになってきた。その標準木が靖国神社内のソメイヨシノである。ソメイヨシノは枝分かれで増やした木なので、DNAは同じで、個体差が少なく、標準木にふさわしい。日本人に馴染み深い桜だが、今のように沢山植えられるようになったのは江戸時代のことで、河川の堤防の補強のため

めに植えられたものだ。日本人は花を愛するが、欧米では実(例えばアメリカンチェリー)を大きくすることに主眼が置かれている。

次に、清原淳平専務理事より、杉本裕東京理科大学工学部教授の経歴紹介がありました。次に、杉本教授より、「CO2から合成樹脂技術」について解説がありました。CO2の生成には、中間物質を経由するより、直接生成できる脂肪族ポリカーボネートが最も適している。触媒に酸化セリウムを使用し、CO2に水和反応を起こすことにより、カーボネートが直接合成されることを突き止めた。この分野では、中国が先行しているが、品質は悪い。ただ、日本で製品化しようとしても、コスト意識が頭にあるため、中々難しい。まずは、副生成物が出ない方法を見出したい。耐熱性がないことを逆手にとって、生分解性プラスチックを開発することも検討している。

次に、中島稔科学技術部会長より、『環境技術関連ニュース No.177』の解説がありました。今回は、○地球温暖化の影響は、乱気流の増加ももたらす、という研究結果。○経産省、国内製造業に技術情報の管理強化を求める。海外からのサイバー攻撃によって、地方の中小企業の技術情報が狙われている。適切に情報管理を行う企業には認証を与える方針。○G20の科学アカデミーによる会議が、気候変動や海洋プラスチック問題について国際的協力を進める共同声明を発表。○経産省でCO2の再利用を目指す官民協議会が始動、CO2を回収して化学製品につくり変える技術などを推進する。○CO2から医薬原料を作る技術。光で有機化合物と反応。発電所排出ガスを有効利用する。○JOGMECが、10年運用してきた三次元探査船「資源」の後継船を、4月下旬から導入開始。130億円で購入した。○などの解説があり、一同大いに勉強になりました。

★レクチュアにつき、当日会費千円にご協力をお願い申し上げます。

次回、4月18日(木)の環境技術委員会に

出・欠 (いずれかに○印)

御芳名 \_\_\_\_\_

貴方様のFAX \_\_\_\_\_

テロ対策への警備からの要請上、会員に限ります。

非会員で参加希望者は、2日前までに履歴書をご提出下さい。

(その際の当日会費は二千円となります。)

事務局宛FAX 03-3507-8587

公益財団法人協和協会 03-3581-1192 時代を刷新する会 03-3272-4320

ホームページ <http://www.kyowakyokai.or.jp> Eメール [shigeta@jidaisassin.jp](mailto:shigeta@jidaisassin.jp)